

豆腐箱詰め装置 概要

(パッケージ後の商品)

装置内容

- ・上流からコンベアーにて流れてくるパッケージ済みの豆腐を整列して指定コンテナに投入する装置
- 4個×4列に整列 16個を一度に箱詰めする。
- ・コンテナもストックできます。 10段 × 3列 (段数は変更可能)
- ・バーコードにて品種を管理しており、違う品種が来た場合NG工程に払い出す。

1サイクル 13, 5秒

※1サイクル 16個の豆腐を並べて箱詰めする時間 (製品をケースに投入する時間は2秒~3秒)

その他 特徴

① 豆腐のような衝撃に弱い製品にも対応可能な搬送設計

デリケートな食品でも破損を防ぐため、搬送・整列・投入の各工程で衝撃を最小限に抑える機構を採用。

② クリアランス“ゼロ”に近い状態でも投入を実現

商品とコンテナの隙間がほとんど無い、通常では困難な条件下でも投入が可能。

③ AIカメラによる高度な品質管理 (オプション)

AIカメラを組み合わせることで、賞味期限の読み取り・製品の傷・欠けの検出など、品質保証に直結する項目を自動で管理可能。

④ バキューム機構を使わずに安定搬送を実現

バキューム方式では「製品を吸着してしまうと復元が困難」という現場の課題が存在します。

本装置では、吸着を使わない非バキューム構造でありながら、製品を確実に保持・搬送できる独自機構を採用。

⑤ 小型化小スペースを実現。ロボット等もない為、従来の装置よりコンパクトな装置を実現。

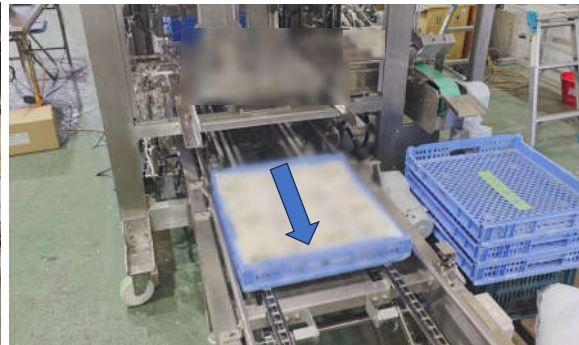
外観写真

正面

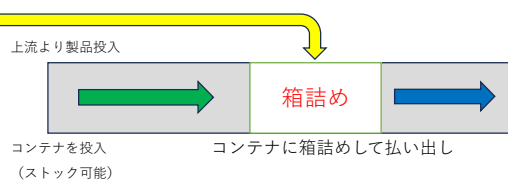
後面



装置の動き



短時間でコンテナに収まって払い出しされます。
概略図



商品に合わせてカスタマイズいたします。

商品の詳細及び気になる点はお問い合わせをお願いいたします。